

令和4年2月2日

教員各位

作新学院大学大学教育センター

シラバス作成にあたっての留意事項

日頃、作新学院大学の教育のために御尽力いただき、誠にありがとうございます。

文部科学省及び中教審答申を踏まえて、認証評価、授業形態に関する各種調査・分析等に対応するため、令和4年度よりシラバス様式が変更となります。

(参考) 中教審答申「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」(2012年3月)では、「学修時間」、「学修成果の把握」、「教員の教育力向上」、「アクティブラーニング等教育方法の改善」、「シラバス等教育課程の体系化」が示されています。

主な変更点は以下のとおりです。

ご担当科目のシラバス作成をお願いするにあたって、ご留意いただきたくよろしく願いいたします。

■主な変更点について

①全体的な変更

●項目配置の変更等

●これまで特記事項や到達目標の中に入力していた項目を独立した項目とし、入力方法を簡素化

- ・「実務経験のある教員」
- ・「ディプロマポリシーとの関連」
- ・「課題に対するフィードバック方法」
- ・「ICTを活用した双方向型授業の内容」
- ・「アクティブラーニングの割合」
- ・「アクティブラーニングの内容」

②項目名の表記変更

●「授業時間外の学修」の表記変更

(これまで「準備学習」としていた表記)

③新規項目の追加

- 「ルーブリック」
- 「SDGs との関連」の項目追加

■特にご留意いただきたいポイント

本学におきましても、学生に授業科目の体系的な履修や主体的な学修を促すために、シラバスの充実、改善への取り組みを継続しているところですが、特に次の項目にご留意いただきたく存じます。

ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

特にご留意いただきたいポイントにつきましては、**ゴシック+下線**となっておりますので、ご対応の程よろしくお願いいたします。

ポイント1：実務経験の有無について

ポイント2：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）との関連について

ポイント3：成績評価について、試験、レポート、平常点などの割合について

ポイント4：課題等へのフィードバック方法について

ポイント5：ICTを活用した双方向型授業の内容について

ポイント6：アクティブラーニングについて

ポイント7：授業時間以外の学修（予習・復習）に必要な時間の明記について

ポイント8：ループリックについて【NEW】

ポイント9：SDGsとの関連について【NEW】

(1) 実務経験の有無について（該当科目のみ）

授業科目に関連する実務経験を有する教員が担当する科目や企業等から招いた講師が指導を行う実践的科目、学外でのインターンシップや実習等を中心とした実践的教育で構成される科目などは、**別添1「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 <2021年度>」を参考**に、「**実務経験の有無**」欄から該当する項目にチェックを入れてください。

参考画面（例：実務経験の有無）

実務経験の有無		実務経験の有無 ▼
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員が担当する	例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等	
<input type="checkbox"/> 実務経験者が指導の一部に関わる	例：行政政策担当者・民間企業・医師等勤務経験者による講義など	
<input checked="" type="checkbox"/> 実践的教育から構成されている	例：教育実習・インターンシップ等	

(2) ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）との関連について

「ディプロマポリシーとの関連」欄に、ディプロマポリシー（別添2「作新学院大学ディプロマポリシー」参照）のどの事項を学ぶための科目かを、4つの項目を見ながら重みづけを選択してください。

参考画面（例：大学 学修成果）

ディプロマポリシーとの関連		大学 学修成果 ▼	
ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得
○ ▼	◎ ▼	◎ ▼	◎ ▼

短大の場合は、「短大 学修成果」を選択の上、別添2-2「女子短期大学部ディプロマポリシー」を参照ください。

(3) 成績評価について、試験、レポート、平常点などの割合について

最終的な成績評価方法を記載してください。

期末試験、小テスト、レポート、平常点など**複数の評価方法を適用する場合は、それらを適用する割合（0～100%）を選択**してください。

その際、授業へ出席することは履修の前提条件ですので、**出席回数が単純に評価されるような表現（「出席点を加味する」、「出席状況 20%」など）はしないでください。**

（参考）経営学部履修規程、人間文化学部履修規程

（受験資格）

第11条 次の各号の一に該当する者は、受験資格を有しない。

（3）特別な理由なしに、受験する授業科目の出席時間数が、その授業科目の授業総時間数の3分の2に達しない者

参考画面（例：成績評価法）

成績評価法（表形式）		成績評価法 ▼
	評価基準	(0～100文字)
定期試験	選択無し ▼	
小テスト等	選択無し ▼	
成果発表	選択無し ▼	
授業への貢献度	選択無し ▼	
レポート	選択無し ▼	
その他	選択無し ▼	成績評価はその都度、連絡します

0%～100%まで、割合を選択ください。（合計100%になるように設定ください。）

(4) 課題へのフィードバック方法について

学修成果の定着を促すために、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法を「課題へのフィードバック方法」欄の中から該当する項目を選択してください。

参考画面（例：課題へのフィードバック方法）

課題へのフィードバック方法		
課題へのフィードバック方法 ▼		
定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
<input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する	<input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する	<input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する

(5) アクティブラーニングについて（該当科目のみ）

授業形態がアクティブラーニングに該当する割合を「アクティブラーニングの割合」欄から選択してください。

また、該当するアクティブラーニングの授業形態について、「アクティブラーニングの内容」欄より、該当する項目を選択してください。

参考画面（例：アクティブラーニングの割合）

アクティブラーニングの割合	
アクティブラーニングの割合 ▼	
<input type="radio"/> 選択無し <input type="radio"/> 総授業時間数の80～100%程度のアクティブラーニングである <input type="radio"/> 総授業時間数の30～80%程度のアクティブラーニングである <input checked="" type="radio"/> 総授業時間数の30%程度のアクティブラーニングである <input type="radio"/> 授業中にアクティブラーニングの要素はあまり無い	

参考画面（例：アクティブラーニングの内容）

アクティブラーニングの内容		
アクティブラーニングの内容 ▼		
書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
<input checked="" type="checkbox"/> 発問の吟味・精選 <input type="checkbox"/> グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> コメントシートの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 小テストや授業内レポートの活用 <input type="checkbox"/> 調べ学習・調査の活用	<input type="checkbox"/> 実験観察・実習 <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> PBL（課題解決型授業）	<input type="checkbox"/> 授業前レポート（予習） <input type="checkbox"/> 授業後レポート

(6) ICT を活用した双方向型授業の内容について（該当科目のみ）

「ICT を活用した双方向型授業の内容」欄において該当する項目を選択してください。

参考画面（例：ICT を活用した双方向型授業の内容について）

ICTを活用した双方向型授業の内容	ICTを活用した双方向型授業実施の内容
<input checked="" type="checkbox"/> クリッカー、アンケート、小テスト等	
<input type="checkbox"/> ビデオ会議システム	
<input checked="" type="checkbox"/> チャット	
<input type="checkbox"/> 掲示板の活用	
<input checked="" type="checkbox"/> メール等の活用	

(7) 授業時間以外の学修（予習・復習）に必要な時間の明記について（学生の予習・復習を促すために）

学生が授業時間以外の学修（事前準備や事後展開等）に主体的に取り組めるように、具体的な授業計画を記載してください。たとえば、各回の授業計画に関連するキーワード、教科書の該当ページ、参照資料、予習・復習の指示など、できるだけ具体的な学習内容を記載してください。またその際、予習、復習や課題作成に必要な学修時間の目安も記載してください。講義や演習など2単位科目の場合は、授業時間以外の学修は60時間（4時間／週）に相当し、外国語や実技など1単位科目の場合は、同15時間（1時間／週）に相当します。（詳しくは、「単位数と学修時間」（p.12）をご参照ください。）

毎回の授業計画に予習・復習（内容と学修時間の目安）の指示を記載することが困難な場合には、「授業時間外の学修」欄を利用して、次のような方法で予習・復習を促してください。

（例1）「各回の授業に臨むにあたり、授業計画に示した授業内容の予習・復習を 3～5時間程度 行うこと。」

（例2）「予め提示した課題について予習・復習（3～5時間程度）を行ない、授業の冒頭に発表会を行う。（or 提出する。）」

（例3）「各回の授業内容をレポートにまとめ（学修時間の目安 3～5時間程度）、次回の授業冒頭に提出する。」

（例4）「各回の授業冒頭に前回の授業内容に関する小テストを実施するので、3～5時間程度の復習を欠かさないこと。」

（例5）「WebClass 内のコースに掲載している授業内容を参照し、その指示に従って 予習・復習（3～5時間程度） を行うこと。」

（例6）「WebClass 内のコースに小テスト等の自習教材を掲載するので、次回までに学修しておくこと。（毎回1時間程度）」

※ 令和4年度より、授業計画は表形式のみへと変更になります。

半期15回（通年30回）授業計画の明記について

授業計画は、学生が受講科目を選択する上で重要な情報になるとともに、学生が予習・復習する上でも不可欠な情報です。次の点にご留意ください。

- ・半期科目15回分（通年科目30回分）の授業計画を各回ごとに記載してください。
- ・定期試験は、上記授業回数に含まないことにご注意ください。
- ・各回の授業内容には、キーワード、教科書の該当ページ、参照資料、予習・復習の指示（学修時間の目安）など、できるだけ具体的な学習内容を記載してください。
- ・卒論指導や研究ゼミナール等において、前項のような記載（具体的な学習内容）がそぐわない場合は、「第〇回：研究テーマの検討」、「第〇回：研究計画の策定」など、指導スケジュールや研究目的など研究の進め方の手引きになるような内容を記載してください。

(8) ルーブリックについて

科目ごとのルーブリックを作成してください。

別添3「共通ルーブリック集」を参考として、「ルーブリック」欄に、コピー&ペーストすることができます。その際、授業に合わせて文言を修正することもできます。

参考画面（例：授業別ルーブリック 評価項目3つ）

「授業別ルーブリック評価項目」を3つ～5つのいずれかを選択してください。

評価項目 (0～200文字)	優秀 (excellent) (0～200文字)	平均 (average) (0～200文字)	途上 (developing) (0～200文字)	未達 (unachieved) (0～200文字)
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる。	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる。	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる。	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたいしてもなかなか自身の能力で課題解決が難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している。
プレゼンテーションの分かりやすさ	課題設定・研究の手順と実際・結果・考察等が、分かりやすくまとめている。画面がとても見やすい。	課題設定・研究の手順と実際・結果・考察等が、分かりやすくまとめている。	課題設定・研究の手順と実際等が、教員の支援を基にまとめている。	教員の支援があっても、なかなか自身でまとめることができない。
プレゼン内容についての質問等への対応が適切である。	質問の意図を理解し、その答えを論理的に説明できるため、質問者も十分理解ができる。熱心に受け答えをしている。	質問の意図を理解し、その答えを説明でき、質問者も理解ができる。	質問の意図を理解し、何か答えられるが、質問者を十分に理解させるところまではいかない。	質問の意図を理解できず、何も答えられない。

(9) SDGs との関連について

該当する項目について、「SDGs との関連」欄より選択してください。

原則、「4. 質の高い教育をみんなに」を選択してください。

参考画面（例：SDGs との関連）

SDGsとの関連	SDGsとの関連 ▼
<input type="checkbox"/> 1. 貧困をなくそう	
<input type="checkbox"/> 2. 飢餓をゼロに	
<input type="checkbox"/> 3. すべての人に健康と福祉を	
<input type="checkbox"/> 4. 質の高い教育をみんなに	
<input type="checkbox"/> 5. ジェンダー平等を実現しよう	
<input type="checkbox"/> 6. 安全な水とトイレを世界中に	
<input type="checkbox"/> 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	
<input type="checkbox"/> 8. 働きがいも 経済成長も	
<input type="checkbox"/> 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	
<input type="checkbox"/> 10. 人や国の不平等をなくそう	
<input type="checkbox"/> 11. 住み続けられるまちづくりを	
<input type="checkbox"/> 12. つくる責任 つかう責任	
<input type="checkbox"/> 13. 気候変動に具体的な対策を	
<input type="checkbox"/> 14. 海の豊かさを守ろう	
<input type="checkbox"/> 15. 陸の豊かさを守ろう	
<input type="checkbox"/> 16. 平穏と構成をすべての人に	
<input type="checkbox"/> 17. パートナリシップで目標を達成しよう	

【記入上の注意】Web シラバス入力項目について

(1) 基本事項（入力は不要です。）

項目名	説明
講義コード	学務システム上の講義コード
講義名	学則科目名称＋付加情報（クラス、通年、再履修など） 例）「英語 A1 c」・・・「英語 A1」の c クラス
副題	ナンバリング
開講責任部署	学部・学科名称
講義開講時期	前期／後期／通年
講義区分	講義／演習／実験・実習
基準単位数	
時間	（未使用）
代表曜日	
代表時限	
科目分類名	各学部カリキュラム表の大分類
科目分野名	各学部カリキュラム表の中小分類
対象学部・年次	対象学部・履修開始年次
必須／選択	必修／選択必修／選択
代表教員	複数担当の場合、代表教員に◎印をして表示します。

(2) 授業内容（◎印の項目は必ず入力してください。）

入力項目	記入上の注意
◎授業の概要	授業の概要を記入してください。
◎授業の到達目標 及びテーマ	<p>この授業で学ぶことの意義、この授業でどのような知識・能力を身につけることができるかなどの到達目標を記載してください。その際、できるだけ学部・学科等の教育目標や他の授業科目との関連性のなかでの位置づけについても学生がイメージできるように記載してください。</p> <p>到達目標については、学生の視点からの表現に努めてください。たとえば「〇〇について理解し、自分の考えを説明できるようになる」、「〇〇などの事例を分析できるようになる」など。</p>

入力項目	記入上の注意
<p>◎授業計画表</p>	<p>各回の詳細な授業計画を記載できます。(別画面入力)</p> <p>授業計画は、半期 15 回分(通年科目は 30 回分)の授業計画を各回ごとに具体的に記載してください。ただし、定期試験は授業回数に含まないのでご注意ください。</p> <p>授業計画は、学生が受講科目を選択する上で重要な情報になるとともに、学生が予習・復習する上でも不可欠な情報となります。各回の授業内容をキーワード、教科書の該当ページ、参照資料、予習・復習の指示(学修時間の目安を含む)など、できるだけ具体的な学習内容を記載してください。</p> <p>なお、卒論指導や研究ゼミナールなど授業形態によっては、上記のような具体化がそぐわない場合も予想されます。その際は「第〇回：研究テーマの検討」、「第〇回：研究計画の策定」など、指導スケジュールや研究目的など研究の進め方の手引きになるような内容を記載してください。</p> <p>また、本欄に逐一記載することが不向きな場合(予習・復習の全般的指示など)は、「授業時間外の学修」などの欄もご活用ください。</p> <p>資料の提示には、インターネット上のアドレスを提示することも可能です。</p>
<p>◎授業時間外の学修</p>	<p>受講に際して前提となる予備知識や事前に履修しておくべき関連科目などを記載してください。</p> <p>また、予習・復習等の具体的な内容(学修時間の目安を含む)にもご利用ください。</p>
<p>◎実務経験の有無</p>	<p>別添 1「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表<2021 年度>」を参考に、「実務経験の有無」欄から該当する項目にチェックを入れてください。</p>

入力項目	記入上の注意
◎ディプロマポリシーとの関連	ディプロマポリシー（ 別添 2「作新学院大学ディプロマポリシー」参照 ）のどの事項を学ぶための科目か選択してください。
◎ルーブリック	別添 3「共通ルーブリック集」を参考 として、科目に対するルーブリックを コピー＆ペースト で入力ください。
◎成績評価法（表形式）	定期試験、小テスト、成果発表、授業への貢献度、レポート、その他において、成績評価の割合をプルダウンから選択してください。 備考には成績評価の方法の詳細を記載してください。
◎課題へのフィードバック方法	課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法について、該当する項目をチェックしてください。
◎ICT を活用した双方向型授業の内容	ICT を活用した双方向型授業の内容について、該当する項目をチェックしてください。
◎アクティブラーニングの割合	アクティブラーニングの割合について該当する項目を選択してください。
◎アクティブラーニングの内容	アクティブラーニングの授業形態について、該当する項目をチェックしてください。
◎教科書	教科書を記載してください。 教科書使用の有無も含めて記載してください。
参考書	参考書を記載してください。
授業用 URL	授業で使用する URL の掲載にご利用ください。 http://～もしくは https://～の形式で入力します。
参考 URL 1～4	授業用 URL 以外にご利用ください。

入力項目	記入上の注意
◎SDGs との関連	該当する項目について、選択してください。 原則、「4.質の高い教育をみんなに」を選択してください。
特記事項等	その他補足事項があれば、ご利用ください。
学生へのメッセージ	学生へのメッセージを掲載したい場合にご利用ください。授業アンケートに対する応答などにもご利用ください。
◎研究室（訪問先等）	研究室や訪問先、出校日など、授業に関する問合せなどの面会方法について記載してください。
電話番号	電話番号の掲載にご利用ください。
授業用 Email	授業用 Email の掲載にご利用ください。

※データ入力の無い項目は、シラバス参照の際表示されません。

参 考

■LMS（ラーニング・マネジメント・システム）「WebClass」の利用について

対面授業や遠隔授業での教材提供やテスト作成、レポート提出などを行う LMS 環境として、「WebClass」をご利用いただいております。

操作方法につきましては、以下の URL にてマニュアルを掲載していますので参考にしてください。また、Office365 の各機能は、これまで通りご利用可能です。

<WebClass マニュアル（教員向け）>

作大 WebClass マニュアル（教員向け）については、以下の場所よりダウンロードできますので、ご参照ください。

Teams>遠隔授業の実施に関する資料集（FD/SD 委員会）>00_WebClass マニュアル集
https://sakushinuac.sharepoint.com/:f/s/FDSD/EmaSVL3E5RdFmgXclUcPoMoBE5mngwTVKK3pY5x-Iv-3_A?e=2Moade

■単位数と学修時間（学則第 28 条の要約）

1 単位は、授業時間と授業時間外を合わせた 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成し、授業の方法に応じて、次の基準によって計算する。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲内の授業時間数をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲内の授業時間数をもって 1 単位とする。

したがって、**授業時間外の学修時間（予習や復習等の時間）**は次のようになります。

<講義及び演習など 2 単位科目の場合>

(全学修時間)	(授業時間 2 時間×15 週)	(授業時間外の学修時間 4 時間×15 週)
90 時間	— 30 時間	= 60 時間

<実験、実習及び実技など 1 単位科目の場合>

(全学修時間)	(授業時間 2 時間×15 週)	(授業時間外の学修時間 1 時間×15 週)
45 時間	— 30 時間	= 15 時間

【シラバス例 1】・・・予習・復習を毎回の授業計画表にも記載した例

講義名	経営情報論B		
(副題)	BB-BBA-2211		
開講責任部署	経営学部経営学科(大学)		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	2.00	時間	
代表曜日	調整中	代表時限	調整中
科目分類名	専門教育科目		
科目分野名	学科共通科目		
対象学部・年次	経営学科・2年～		
必須/選択	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎□□ □□	指定なし

授業の概要	経営情報論の基礎、経営情報論の基礎理論、経営情報システムの変遷、情報通信技術の進展、経営情報システムの設計・開発について学修します。		
授業の到達目標及びテーマ	<p>(テーマ)経営情報の基礎理論 情報は、ヒト、モノ、カネと並ぶ重要な経営資源である。経営における情報は、企業の意志決定 << 中略 >></p> <p>本講義では、経営情報論の基礎となる理論を概観し、企業活動と情報システムの関係、経営情報システムの変遷とその意味、経営の立場から見たシステム開発方法論について理解できるようになることを目標とします。</p>		
授業計画表	第 1 回	ガイダンス／経営情報論の基礎(1)情報社会の到来と企業経営(教科書 pp.1-11) 予習・復習 スライド教材と教科書による復習(1hr)、予習(2hr)	
	第 2 回	経営情報論の基礎(2)経営資源としての情報／経営情報論の意義(教科書 pp.11-28) 【予習・復習】 スライド教材と教科書による復習(2hr)、第 1 章小テスト(1hr)、予習(2hr)	
	第 3 回	経営情報論の基礎理論(1)経営組織論(教科書 pp.29-40) 【予習・復習】 スライド教材と教科書による復習(2hr)、予習(2hr)	
		<< 中略 >>	
	第 15 回	経営情報システムの設計・開発(3)現代の情報システム開発方法論、組織戦略・事業戦略との融合(教科書 pp.126-135) 【予習・復習】 スライド教材と教科書による復習(2hr)、 期末試験用の課題準備(2hr)	
	期末試験		
		授業計画表に予習・復習のことを記載しても構いません。	
授業時間外の学修	<p>1 年次の「経営学総論」の修得が前提となりますが、特に予備知識がなくても理解できるように解説します。</p> <p>各回の授業に臨むにあたり、授業計画に示した授業内容について教科書の該当ページの予習をしておくこと。授業で使用する教材や小テストは、WebClass のコースに掲載するので、教科書と合せて予習・復習に活用すること。(毎回の予習・復習時間の目安は、週 3～5 時間です。)</p>		

実務経験の有無	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">実務経験の有無</td> <td style="width:50%">実務経験の有無</td> </tr> </table> <p> <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員が担当する 例:企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等 <input type="checkbox"/> 実務経験者が指導の一部に関わる授業科目 例:行政担当者・民間企業・医師等勤務経験者による講義など <input type="checkbox"/> 実践的教育から構成されている授業 例:教育実習・インターンシップ等 </p>	実務経験の有無	実務経験の有無																							
実務経験の有無	実務経験の有無																									
ディプロマポリシーとの関連	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td colspan="2">ディプロマポリシーとの関連</td> <td colspan="2">大学 学修成果</td> </tr> <tr> <td>ディプロマポリシー①③ 自律学修能力の習得</td> <td>ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の習得</td> <td>ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の習得</td> <td>ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center">○</td> <td style="text-align:center">◎</td> <td style="text-align:center">◎</td> <td style="text-align:center">○</td> </tr> </table>	ディプロマポリシーとの関連		大学 学修成果		ディプロマポリシー①③ 自律学修能力の習得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の習得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の習得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得	○	◎	◎	○													
ディプロマポリシーとの関連		大学 学修成果																								
ディプロマポリシー①③ 自律学修能力の習得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の習得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の習得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得																							
○	◎	◎	○																							
ルーブリック	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td colspan="2">ルーブリック</td> <td colspan="3">授業別ルーブリック 評価項目 3つ</td> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>優秀(excellent)</th> <th>平均(average)</th> <th>途上(developing)</th> <th>未達(unachieved)</th> </tr> <tr> <td>理解度</td> <td>授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる</td> <td>授業内容をほぼ95%程度理解している、自主的な学修も少し行っていると認められる</td> <td>授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる</td> <td>授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている</td> </tr> <tr> <td>課題解決能力</td> <td>他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる</td> <td>基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる</td> <td>参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる</td> <td>参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している</td> </tr> <tr> <td>レポート力(復習も含む)</td> <td>テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている</td> <td>テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている</td> <td>テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている</td> <td>テーマについての分析がなされていない</td> </tr> </table>	ルーブリック		授業別ルーブリック 評価項目 3つ			評価項目	優秀(excellent)	平均(average)	途上(developing)	未達(unachieved)	理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解している、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている	課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している	レポート力(復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない
ルーブリック		授業別ルーブリック 評価項目 3つ																								
評価項目	優秀(excellent)	平均(average)	途上(developing)	未達(unachieved)																						
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解している、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている																						
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している																						
レポート力(復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない																						
成績評価法	<table border="1" style="width:100%"> <tr> <td colspan="2">成績評価法(表形式)</td> <td>成績評価法</td> </tr> <tr> <th></th> <th>評価基準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>定期試験</td> <td>70%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小テスト等</td> <td>30%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業への貢献度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成績評価法(表形式)		成績評価法		評価基準	備考	定期試験	70%		小テスト等	30%		成果発表			授業への貢献度			レポート			その他			
成績評価法(表形式)		成績評価法																								
	評価基準	備考																								
定期試験	70%																									
小テスト等	30%																									
成果発表																										
授業への貢献度																										
レポート																										
その他																										

課題へのフィードバック方法	課題へのフィードバック方法	
	定期試験や小テストの結果について <input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input checked="" type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する	課題(レポート等)について <input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する
ICT を活用した双方向型授業の内容	ICT を活用した双方向型授業の内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> クリッカー、アンケート、小テスト等 <input type="checkbox"/> ビデオ会議システム <input type="checkbox"/> チャット <input type="checkbox"/> 掲示板の活用 <input type="checkbox"/> メール等の活用	
アクティブラーニングの割合	アクティブラーニングの割合	
	<input type="checkbox"/> 総授業時間の 60~100%程度のアクティブラーニングである <input type="checkbox"/> 総授業時間の 30~60%程度のアクティブラーニングである <input checked="" type="checkbox"/> 総授業時間の 30%程度のアクティブラーニングである <input type="checkbox"/> 授業中にアクティブラーニングの要素はあまり無い <input type="checkbox"/> 選択無し	
アクティブラーニングの内容	アクティブラーニングの内容	
	書く・話す・発表する等の活動におけるAL <input type="checkbox"/> 発問の吟味・精選 <input type="checkbox"/> グループワークのディスカッションやディベート(議論の場と時間) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> コメントシートの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 小テストや授業内レポートの活用 <input type="checkbox"/> 調べ学習・調査の活用	経験値・技能を高める活動におけるAL <input type="checkbox"/> 実務観察・実習 <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> PBL(課題解決型授業)
教科書	遠山 暁・村田 潔・岸 真理子『経営情報論(新版補訂)』有斐閣アルマ,ISBN978-4-641-22057-7	
参考書	「新経営学」研究会編『新経営学総論—経営学の新たな展開』学文社 宮川 公男『経営情報システム 第2版』中央経済社	
授業用 URL	https://webclass.sakushin-u.ac.jp/webclass/login.php	
参考 URL1~4		
SDGs との関連	SDGs との関連	

	<input type="checkbox"/> 1. 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> 2. 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> 3. 全ての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> 4. 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> 5. ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> 6. 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに <input type="checkbox"/> 8. 働きがいも 経済成長も <input type="checkbox"/> 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	<input type="checkbox"/> 10. 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> 11. 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> 12. つくる責任 つかう責任 <input type="checkbox"/> 13. 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> 14. 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> 15. 陸の豊かさも守ろう <input type="checkbox"/> 16. 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> 17. パートナーシップで目標を達成しよう
特記事項等		
学生へのメッセージ		
研究室(訪問先等)	425 研究室(中央研究棟 4 階)	
電話番号		
授業用 E-mail	hideyuki@sakushin-u.ac.jp	

【シラバス例2】・・・予習・復習を「授業時間外の学修」欄に記載した例

講義名	初級中国語1-1		
(副題)	ZA-LLC-211		
開講責任部署	人間文化学部発達教育学科(大学)		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	
代表曜日	調整中	代表時限	調整中
科目分類名	共通教育科目		
科目分野名	教養教育科目		
対象学部・年次	人間文化学部・1年～		
必須/選択	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎□□ □□	指定なし

授業の概要	<p>まず発音を示すローマ字(ピンイン)を覚え、正確な発音と常用中国語の聞き取り練習を反復して行います。さらにテキストや補助教材にそって、出会い・別れ・感謝・謝罪、簡単な疑問文、日常生活における最低限の挨拶表現や言いまわしを学んでいきます。また日本語・中国語に共通の語彙を取り上げ語彙力も徐々につけていきます。</p>																																
授業の到達目標及びテーマ	<p>① 現在中国で使用されている全国共通の標準語である普通話(プアトンホア)を学習する。 ② ①の学習を通して、発音の基礎を身につけ、日常生活における最低限の挨拶表現や言いまわしに習熟する。</p>																																
授業計画表	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>ガイダンス:この授業で学ぶ“中国語”とは？</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>発音の基礎 ①単母音・声調・二重母音</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>発音の基礎 ②三重母音・子音その1</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>発音の基礎 ③子音その2</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>発音の基礎 ④発音のまとめ・音節表を用いた総合練習</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>第1課 ①いろいろな挨拶の仕方。中国語の語順</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>第2課 名前のたずねかた。自己紹介。自分の名前の発音はどうなるか</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>第3課 数字を使った表現。その1 数字そのものについて</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>第3課 数字を使った表現。その2 年月日・曜日の表し方</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>第4課 数字を使った表現。その3 時刻・時間の言い方</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>第5課 数字を使った表現。その4 金銭・値段の言い方</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>第6課 家族構成について。物を数える単位 その1</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>第6課 家族構成について。物を数える単位 その2</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>教科書から離れて・・・よく使う言い回し ヒアリング練習</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>発音試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td>定期試験</td> </tr> </table>	第1回	ガイダンス:この授業で学ぶ“中国語”とは？	第2回	発音の基礎 ①単母音・声調・二重母音	第3回	発音の基礎 ②三重母音・子音その1	第4回	発音の基礎 ③子音その2	第5回	発音の基礎 ④発音のまとめ・音節表を用いた総合練習	第6回	第1課 ①いろいろな挨拶の仕方。中国語の語順	第7回	第2課 名前のたずねかた。自己紹介。自分の名前の発音はどうなるか	第8回	第3課 数字を使った表現。その1 数字そのものについて	第9回	第3課 数字を使った表現。その2 年月日・曜日の表し方	第10回	第4課 数字を使った表現。その3 時刻・時間の言い方	第11回	第5課 数字を使った表現。その4 金銭・値段の言い方	第12回	第6課 家族構成について。物を数える単位 その1	第13回	第6課 家族構成について。物を数える単位 その2	第14回	教科書から離れて・・・よく使う言い回し ヒアリング練習	第15回	発音試験		定期試験
第1回	ガイダンス:この授業で学ぶ“中国語”とは？																																
第2回	発音の基礎 ①単母音・声調・二重母音																																
第3回	発音の基礎 ②三重母音・子音その1																																
第4回	発音の基礎 ③子音その2																																
第5回	発音の基礎 ④発音のまとめ・音節表を用いた総合練習																																
第6回	第1課 ①いろいろな挨拶の仕方。中国語の語順																																
第7回	第2課 名前のたずねかた。自己紹介。自分の名前の発音はどうなるか																																
第8回	第3課 数字を使った表現。その1 数字そのものについて																																
第9回	第3課 数字を使った表現。その2 年月日・曜日の表し方																																
第10回	第4課 数字を使った表現。その3 時刻・時間の言い方																																
第11回	第5課 数字を使った表現。その4 金銭・値段の言い方																																
第12回	第6課 家族構成について。物を数える単位 その1																																
第13回	第6課 家族構成について。物を数える単位 その2																																
第14回	教科書から離れて・・・よく使う言い回し ヒアリング練習																																
第15回	発音試験																																
	定期試験																																
授業時間外の学修	<p>中国語の辞書に「中国語」という単語は載っているでしょうか…。中国語って「北京語」を指しているのでしょうか…。「いただきます」って中国語で何て言うのでしょうか…。あれこれ想像しててください。</p> <p>新しく学ぶ言語ですから予習の必要はありません。</p> <p>ほぼ毎回、前の授業の内容確認の小テストを実施します。この小テストの準備として学習した内容を復習しておきましょう。(毎回の学習時間の目安は1～2時間です。)</p>																																

実務経験の有無	実務経験の有無				
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員が担当する 例:企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等 <input type="checkbox"/> 実務経験者が指導の一部に関わる授業科目 例:行政担当者・民間企業・医師等勤務経験者による講義など <input type="checkbox"/> 実践的教育から構成されている授業 例:教育実習・インターンシップ等				
ディプロマポリシーとの関連	ディプロマポリシーとの関連		大学 学修成果		
	ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の習得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の習得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の習得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協調性の獲得	
	◎	○	◎	○	
ルーブリック	ルーブリック		授業別ルーブリック 評価項目3つ		
	評価項目	優秀(excellent)	平均(average)	途上(developng)	未達(unachieved)
	教科書や授業の課題の理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行っていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
	発音・読み方等	沈黙や言い直しが全くなく、正しい発音でスムーズに読むことができる	沈黙や言い直しがあまりなく、正しい発音でスムーズに読むことができる	沈黙や言い直しは時折あるが、ある程度正しい発音で読むことができる	沈黙や言い直しは多々ある。また、正しい発音で読むことが難しいため、教員と一緒に読んでいる
言葉での表現力	正しく読みやすい言葉で表現されており、スムーズに内容を把握することができる。また、文法的にも正しく表現できている	読みやすい言葉で表現されており、ある程度内容を把握することができる。また、文法的にもほぼ正しく表現できている	表現された文章についてはある程度内容を把握することができる。また、文法的な誤りも多少ある	表現された文章について内容を把握すること難しい。また、文法的な誤りが多々あるため指導を適宜している	
成績評価法(表形式)	成績評価法(表形式)		成績評価法		
		評価基準	備考		
	定期試験	80%	期末テスト(発音・筆記)、授業中に行う小テスト、練習問題、授業への取り組み方等を総合的に見て評価します		
	小テスト等	15%			
	成果発表				
	授業への貢献度 レポート その他	5%	授業への取り組み方		

課題へのフィードバック方法	課題へのフィードバック方法		課題へのフィードバック方法	
	定期試験や小テストの結果について	課題(レポート等)について	模擬授業、プレゼン、発言等について	
	<input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input checked="" type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する	<input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する	<input type="checkbox"/> 授業の冒頭で解説、講評する <input type="checkbox"/> 掲示板等に正解と講評を掲載する <input type="checkbox"/> 授業の中で解説、講評する <input type="checkbox"/> その都度解説、講評する	
ICT を活用した双方向型授業の内容	ICT を活用した双方向型授業の内容		ICT を活用した双方向型授業の内容	
	<input type="checkbox"/> クリッカー、アンケート、小テスト等 <input type="checkbox"/> ビデオ会議システム <input type="checkbox"/> チャット <input type="checkbox"/> 掲示板の活用 <input checked="" type="checkbox"/> メール等の活用			
アクティブラーニングの割合	アクティブラーニングの割合		アクティブラーニングの割合	
	<input type="checkbox"/> 総授業時間の 60~100%程度のアクティブラーニングである <input type="checkbox"/> 総授業時間の 30~60%程度のアクティブラーニングである <input checked="" type="checkbox"/> 総授業時間の 30%程度のアクティブラーニングである <input type="checkbox"/> 授業中にアクティブラーニングの要素はあまり無い <input type="checkbox"/> 選択無し			
アクティブラーニングの内容	アクティブラーニングの内容		アクティブラーニングの内容	
	書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL	
	<input type="checkbox"/> 発問の吟味・精選 <input type="checkbox"/> グループワークのディスカッションやディベート(議論の場と時間) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> コメントシートの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 小テストや授業内レポートの活用 <input type="checkbox"/> 調べ学習・調査の活用	<input type="checkbox"/> 実務観察・実習 <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> PBL(課題解決型授業)	<input type="checkbox"/> 授業前レポート(予習) <input type="checkbox"/> 授業後レポート	
教科書	『新版 はじめての中国語』 紹文周 明日香出版社			
参考書				
授業用 URL				
SDGs との関連	SDGs との関連		SDGs との関連	
	<input type="checkbox"/> 1. 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> 2. 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> 3. 全ての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> 4. 質の高い教育をみんなに		<input type="checkbox"/> 10. 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> 11. 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> 12. つくる責任 つかう責任 <input type="checkbox"/> 13. 気候変動に具体的な対策を	

	<input type="checkbox"/> 5. ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> 6. 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに <input type="checkbox"/> 8. 働きがいも 経済成長も <input type="checkbox"/> 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	<input type="checkbox"/> 14. 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> 15. 陸の豊かさも守ろう <input type="checkbox"/> 16. 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> 17. パートナーシップで目標を達成しよう
特記事項等		
学生へのメッセージ		
研究室(訪問先等)	中央研究棟 4 階 408 研究室	
電話番号		
授業用 Email		

別添一覧（参考資料）

別添1「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 <2021 年度>」

別添2「作新学院大学ディプロマポリシー」

別添2-2「女子短期大学部ディプロマポリシー」

別添3「共通ルーブリック集」

問い合わせ先

問い合わせ先

内容に関すること

教務課

TEL:028-670-3642

MAIL: kyoikucenter@sakushin-u.ac.jp

操作に関すること

情報センター

TEL:028-670-3616

MAIL: kyoikucenter@sakushin-u.ac.jp